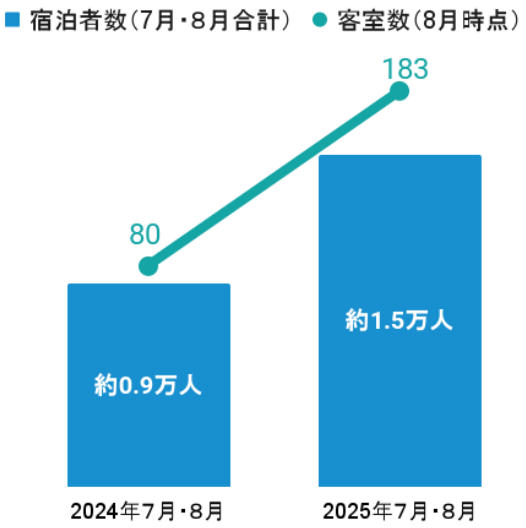
各　位

2024年10月１日

会 社 名　株　式　会　社　　ダ イ ブ
代表者名　代 表 取 締 役 社 長　　庄 子　潔
（コード番号:151A　東証グロース）
問合せ先　執行役員管理本部長　大野　友裕
（ ＴＥＬ．０３－６３１１－９８３３）

地方創生事業において夏の宿泊者総数が前年同期比+64％
北海道芦別市では人口の約 24%にあたる交流人口を創出

全国６カ所の地方地域でグランピング施設「ザランタン」をはじめとする宿泊施設を運営する株式会社ダイブ（東京都新宿区　代表取締役社長：庄子潔、証券コード 151A）は、「ザランタン」「クラフトホテル」の 2024 年の夏シーズン（７月・８月）における**宿泊者総数が約 1.5 万人となり、前年同期の宿泊者総数（約 0.9 万人）比で+64%増加いたしました。**



（「ザランタン」「クラフトホテル」７月・８月の宿泊者数・客室数推移）

詳細につきましては次頁以降をご参照ください。

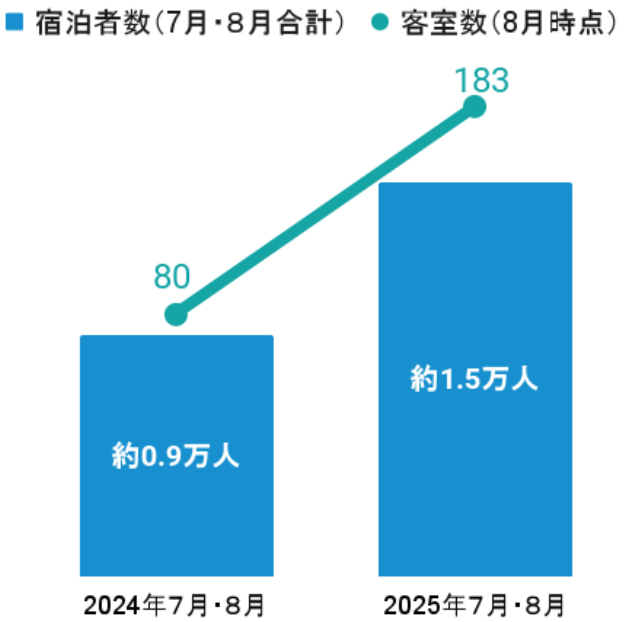
以上

NEWS RELEASE

2024年10月１日（火）
株式会社ダイブ

非観光地の遊休施設・遊休地を利活用した地方創生事業において 夏（７月・８月）の宿泊者総数が前年同期比+64% ― 北海道芦別市では人口の約24%にあたる交流人口を創出 ―

全国６カ所の地方地域でグランピング施設「ザランタン」をはじめとする宿泊施設を運営する株式会社ダイブ（東京都新宿区　代表取締役社長：庄子潔、証券コード151A、以下ダイブ）は、「ザランタン」「クラフトホテル」の2024年の夏シーズン（７月・８月）における**宿泊者総数が約1.5万人となり、前年同期の宿泊者総数（約0.9万人）比で+64%増加いたしました。**



（「ザランタン」「クラフトホテル」７月・８月の宿泊者数・客室数推移）

■施設数増加により客室総数は前年同期比+129%の183室、宿泊者総数（７月・８月）は前年同期比+64%増加

ダイブでは2024年３月に初のホテル業態となる「クラフトホテル瀬戸内」（香川県東かがわ市、客室数35室）を開業し、グランピング施設「ザランタン」では2024年７月に「ザランタン東かがわ」（香川県東かがわ市、客室数17室）を開業しました。また、既存施設の増室を含む戦略的成長投資により、**客室総数は2023年８月時点の80室から103室増加し、2024年８月時点で183室となりました。**その結果、宿泊者総数は好調に推移し、運営施設全体の夏シーズン（７月・８月）では**前年同期比で+64%の約1.5万人**となりました。

■「ザランタン芦別」では北海道・芦別市の総人口の約24%にあたる交流人口を創出

ダイブが2021年７月に開業した「ザランタン芦別」（北海道芦別市）では、**2024年７月・８月の宿泊者総数が約2,700名となり、芦別市の総人口（11,345人*1）の約24%に相当する交流人口を創出**しました。

芦別市は、北海道の富良野・美瑛から車で１時間程度の場所にあり、市の約９割が森林に覆われた自然豊かな地域です。「ザランタン芦別」は２年半にわたり閉鎖されていたキャンプ場（遊休地）をダイブが利活用し、企画から集客、運営まで一気通貫で行い開業した施設です。現在では年間6,000人以上の交流人口を創出する、地域の新たな観光拠点として成長しています。

(*1)北海道・芦別市ホームページより（https://www.city.ashibetsu.hokkaido.jp/）





■地方創生事業について

ダイブの地方創生事業は2019年に開始し、現在は全国６カ所の地方地域にてグランピング施設およびホテルの運営を行っています。事業の特徴として、日本の有名な観光地ではなく、まだ魅力に気づかれていない「非観光地」に着目し、地方自治体と手を組み、非観光地の遊休施設・遊休地を利活用して宿泊施設を運営しています。これにより、コストを抑えながら、企画開発から集客、運営まで一気通貫で行い、D2Cでの集客や観光HR事業と連携した人材の流動化による運営コストの優位性を実現しており、ダイブにしかできない事業を展開しながら積極的に地域経済の活性化に貢献しています。



【株式会社ダイブ／概要】
会　社　名　：株式会社ダイブ
創　　業　：2002年3月
代表取締役社長　：庄子 潔
本社所在地　：〒160-0022　東京都新宿区新宿2-8-1 新宿セブンビル10F
サ　イ　ト　：https://dive.design/

ダイブは、日本経済の成長エンジン「観光業」の大課題を解決すべく、事業展開しているベンチャー企業です。基幹事業である観光施設に特化した人材サービス（リゾートバイト）においては、観光施設の大課題である「人手不足」の解決に寄与しており、年間9,320人の観光従事者を創出（2024年６月期）。日本人人材と外国人人材あわせて、全国47都道府県、4,600施設以上の観光施設と、人材のお取引実績があります。

また、新規事業の地方創生事業では、全国6カ所の非観光地（過疎地・消滅可能性都市を含む）において、D2Cの観光事業を展開。収益の創出・外貨の獲得はもちろん、地域事業者と連携することでのサステナブルな地域づくりに貢献しております。その他にも、グランピング施設に特化したWEBメディア「 GLAMPICKS（グランピックス）」の運営をはじめとした宿泊施設に対しての集客支援など、IT領域での事業展開も積極的に行っております。

